



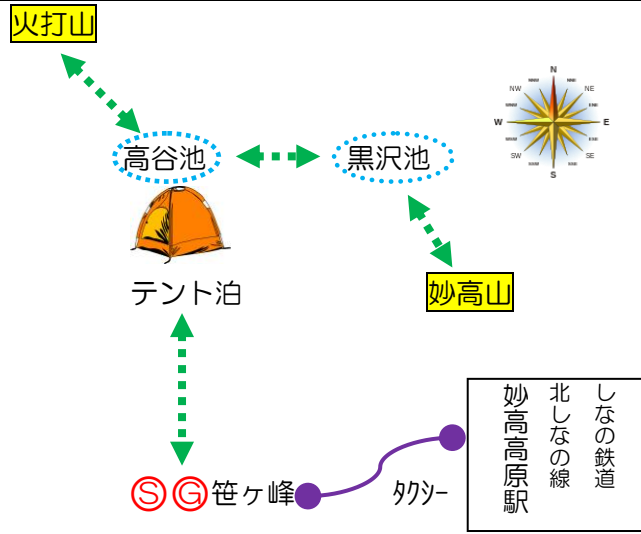
山 行 報 告 書

山 名：妙高山 (2454m)・火打山 (2461.8m) (新潟県 妙高市)

入山日：平成28年6月2日 (木) ~4日 (土) 2泊3日 メンバー： 岩田



天狗の庭 2120m から火打山を望む



<p>第一日目 6月2日(木) 晴れ</p>	<p>【電車・妙高】大宮 6:42=かがやき 501 号⇒7:38 長野 7:46⇒8:30 妙高高原駅 8:35⇒高原妙高 0255-86-3141⇒9:08 笹ヶ峰</p> <p>◎9:50 笹ヶ峰 H1309m→11:01~17 黒沢橋→11:37 十二曲り→13:30~14:05 富士見平→15:15 高谷池 2120m テント泊 0255-86-6000 夕仏 5 時間 25 分</p>
<p>第二日目 6月3日(金) 晴れ</p>	<p>6:55 高谷池→8:06~37 黒沢池→9:13~20 大倉乗越 2150m→10:15~33 分岐 2051m→12:04~30 妙高山 2454m ^/~/^→13:26~43 分岐→14:49~15:07 大倉乗越→15:30 黒沢池→17:25 高谷池 テント泊 夕仏 10 時間 30 分</p>
<p>第三日目 6月4日(土) 晴れ午後曇り</p>	<p>5:30 高谷池→7:23~45 火打山 2461.8m ^/~/^→9:05 高谷池 テント撤収 10:15→11:07~30 富士見平→12:49~13:13 黒沢橋→◎14:05 笹ヶ峰 1309m 夕仏 8 時間 35 分</p> <p>【妙高・電車】14:42 笹ヶ峰⇒妙高⇒15:15 妙高高原駅 15:51⇒16:39 長野 16:45 =あさま 656 号⇒18:06 大宮</p>

装備 個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、ガーミンGPS、地図、ストック、非常食、テルモス、ツエルト、サバイバルアルミシート、テント、テント泊一式、バーナー、ライター、アイゼン、ピッケル、スパッツ、ヘルメット、熊鈴、救急用品、健康保険証、携帯電話

感想：第一日目：笹ヶ峰からは新緑の美しい樹林帯歩きが続く。黒沢橋で沢の音を聞きながら一休み。2000m 付近から登山道に残雪が現れた。高谷池のテント場からは白い噴煙を上げゴォーと音を立てる焼山や残雪を頂いた火打山が望まれる。テント場はほとんど雪に覆われていたが平坦な土の上にテントを張ることができた。テントは一張りのみ。



テントから焼山を望む

第二日目：朝、霜がおり高谷池には氷が張った。妙高山への登山道は所々残雪に埋もれ進む方向が不明瞭になったり、一か所藪漕ぎをしたり思いのほか時間がかかった。大倉乗越を過ぎやがて急な雪渓のトラバースがありアイゼンをつける。この雪渓や続く崩落地は落石の危険があり、ヘルメットを着用した。長助池分岐からはしばらく雪渓の登クステップで大丈夫。上部は雪も無く頂した。絶景かな！残雪の北アルプス南峰まで往復、予定より一時間半余りを急ぐ。往路を戻り、さきほどの雪渓トラバースし大倉乗越を登り返す。黒ズボット踏み抜くので、注意が必要。一マーズが赤く輝いていた。今夜もテ

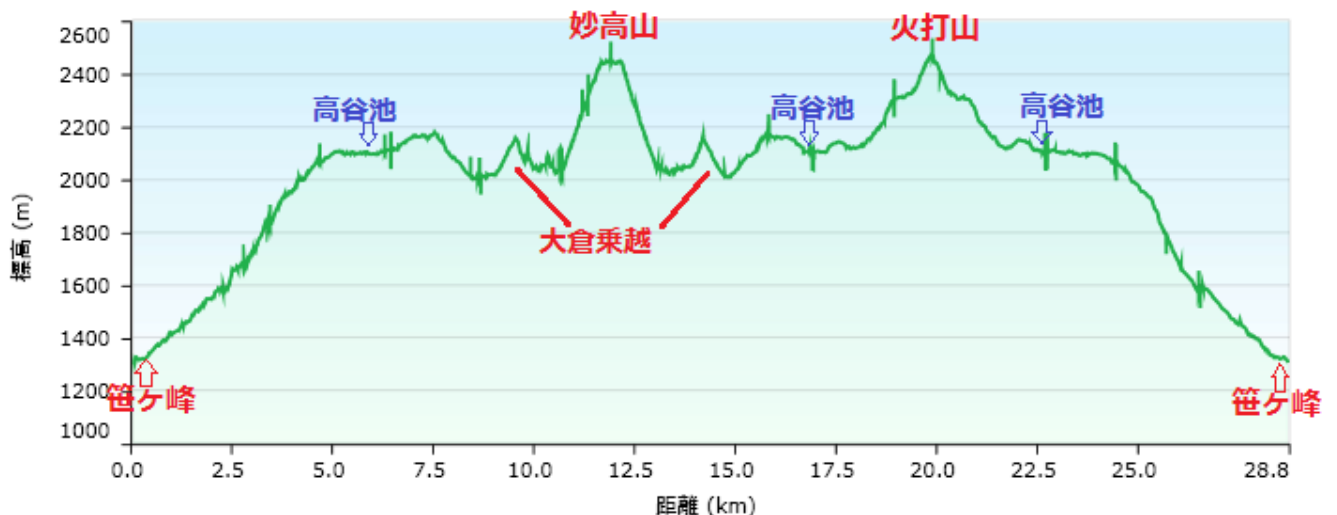


りが続く。ここはキツなり妙高山北峰に登の峰々が展望できた。遅れているので下山を下り、さらに雪渓を沢池を過ぎ所々雪をだ。夜、南東にスーパントー張りのみ。

第三日目：午前3時起床。火打山への登山道は前日登った妙高山より残雪が多い。天狗の庭から望む火打山、影火打そして噴煙を上げる焼山が絵葉書のようにすばらしい。頂上間近の雪田を登り火打山登頂。火打山は登山道全体に傾斜が緩く、この時期はアイゼン無しで登ることができた。今日も北アルプス特に白馬三山、唐松岳、五竜岳、鹿島槍ヶ岳と並んでよく展望できる。頂上で冬羽と夏羽の混じった2羽のライチョウを見つけた。高谷池に戻りテントを撤収し下山を開始した。土曜日だけあって登ってくる登山者が多い。笹ヶ峰に近づくとハルゼミ？がいっぱい鳴いていた。時間通り予約しておいたタクシーで、妙高高原駅へ帰った。



妙高山・火打山 三日間の高度グラフ



以上